

From JPMA

未承認薬・適応外薬の早期解消に向けて

世界では、いまだに満たされていない医療ニーズ、アンメット・メディカルニーズが多く存在し、そうしたニーズに対応した革新的で有用性の高い新薬を創出することが製薬企業の最大のミッションです。

一方、国内においては、世界ですでに使用されていますが、日本で使用することができない薬が多く存在します。

製薬協では、社会貢献の観点から、未承認薬・適応外薬の早期解消に向けて、「未承認薬等開発支援センター」を設立し、会員各社が一体となって真摯に対応しています。今後も継続して国民・患者の皆様のニーズに沿った医薬品の提供に努めてまいりたいと存じます。



日本製薬工業協会
会長 手代木 功

(メディアからの取材を受けて)

日本製薬工業協会(製薬協)

Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者中心の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。